

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D1		
		仕様		STD		
		適用号機		XKF00001～		
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度				
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	2100		
		ローアイドルリング	min ⁻¹	950		
		トルコンストール状態	min ⁻¹	—		
		（冷却水温）	(℃)	(70～80)		
		（作動油温）	(℃)	(80～90)		
		エンジン油圧	kgf/cm ² KPa (油 温) (回転速度)	(min ⁻¹)	375～ (60～70) (1800-2400)	
		弁すき間				
		吸気弁 隙間	mm	0		
		排気弁 隙間 (測定条件)	mm	0 (冷間時)		
	圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	kgf/cm ² KPa (冷却水温) (回転速度)	(min ⁻¹)	350 (—) (—)		
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ² KPa	設定なし (コモンレール)		
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	設定なし			
		[測定位置・条件]	(自動張り調整)			
		[kgとNの両方で表記]	[N]			
動力伝達装置	クラッチペダル又はインチングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ	c m	—		
		ペダルの遊びとストローク	c m			
		ペダルの全ストローク	c m			
	走行ミックス油圧ポンプ	主クラッチ型	ブースタ油圧	MPa kg/cm ²	—	
		ダイレクトシフト型	ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	—	
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	KPa kg/cm ²	—	
			ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	—	
			クラッチ油圧	KPa kg/cm ²	—	
				(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (min ⁻¹)	—
		プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kg・m	—	
ステアリング装置		レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	c m c m	—	
	ステアリングクラッチ油圧	MPa	—			
		(油 温) (回転速度)	kg/cm ² (℃) (rpm)	—		

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D1		
		仕様		STD		
		適用号機		XKF00001～		
区分	検査箇所	検査項目（条件）		単位	検査基準値	
走行装置	クローラベルト	ベルト	張り（たわみ量） 測定方法・条件 （図面番号表示）	mm	—	
			張り（たわみ量） 測定方法・条件 （図面番号表示）	mm	図1参照	
		鉄シユー	リンクピッチの伸び 測定方法・条件 （図面番号表示）	mm	—	
			履板取付ボルト 締付けトルク 測定方法・条件	N・m kg・m	170±40 180±5°増し締め	
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件		床面勾配 1/5以上	—	
作業装置	シリンダー 自然伸縮	ブルドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	mm/分	17mm/5分 地面から254mm	
			ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	mm/分	33mm/5分 チルト左一杯	
			リッパースhiftシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	mm/分	6mm/5分 地面から254mm	
			リッパースhankシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	mm/分	—	
		ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） バケットシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	mm/分 mm/分	—	
	作業機速度	ブルドーザー	（作動油温）		（℃）	
			リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	秒	2.2±0.3秒 地面～最大	
			リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	秒	1.3±0.2秒 地面～最大	
			ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	秒 秒	—
			（作動油温）		（℃）	
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 （作動油温）		kg/cm ² MPa （℃）	20.6±0.9 （38～65）	
備考						

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
図 1．履帯調整方法	1．車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2．バルブ・カバーを外す。（図は開けた状態） 3．トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 トラックを緩める場合、リリース・バルブ（2）を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリース・バルブ（2）を閉めてください。 5．バルブ・カバーを閉じる。 6．反対側の履帯に同様の作業を行う。